

## 2病院と3医師に授与 「救急の日」に知事表彰



救急医療の確保に貢献した医療機関や医師らに対する知事表彰が「救急の日」の9日、広島市中区の県庁

ニュースのご連絡は

広島総局

〒734-0001  
広島市南区出汐2-3-18  
テレビ新広島 新館8F  
☎ 082 (236) 1557  
FAX 082 (250) 0019  
hiroshima@sankei.co.jp

福山支局

〒720-0067  
福山市西町2-5-5  
青葉設計西町ビル2F  
☎ 084 (922) 3000  
FAX 084 (920) 8171  
fukuyama@sankei.co.jp

湯崎知事から表彰状を受け取る救急医療功労者＝県庁

で行われた。

昭和58年に創設され、33回目となった今年は国立病院機構福山医療センター(福山市)、荒木脳神経外科病院(広島市西区)の2病院と医師3人に、湯崎英彦知事から表彰状が手渡された。

福山医療センターは昭和53年に救急病院となり、56年に臨床研修病院、平成6年にエイズ治療拠点病院、11年に地域周産期母子医療センターに指定された。18年には地域医療支援病院、22年には県指定がん診療連携拠点病院の承認を受けるなど、地域医療の拠点として小児救急当番の6割を担

当している。

荒木脳神経外科病院は昭和61年の開院以降、救急患者を断らない姿勢を徹底。年間4200人の救急患者を受け入れた実績がある。

平成23年からは広島市民病院の救急医療コントロール事業に協力、26年からは西区医師会が整備を進める在宅医療拠点となり、広島都市圏で起きる脳神経外科関係の救急搬送の多くを受け入れてきた。25年度実績で、約4分の1にあたる2314件を受け入れている。

医師3人は、とうぎ整形外科・リハビリクリニック(広島市中区)の東儀敬哲院長(70)、三宅会グッドライフ病院(福山市)の三宅晴夫理事長(70)、数佐整形外科病院(東広島市)の数佐正邦理事長(68)。長年にわたる救急医療への従事を評価された。